、飛び出せ23期

は何の為にあるのか。」という問

しきました。

か。



卒

続いている受験という不安も同居していることだろう。 | 月七日、第二十三回洛星高校卒業式が行われた。数々の思い出を残し母校を集立って行く彼らには、

寝びと共に、 また

新聞局では、校長先生、担任の先生に祝いの言葉を、また卒業生に思い出を投稿していただいた。

これからの生活の中で、「私は二四節)

私達は唯一人として、つまらな

間がもっとも長い月日である。

■の担任は私にとって、その一年

これ程多数の人がしかも特定の

卒業おめでとうございます。日

村 いを越えた宗教観によって学園の 教育は支えられてきているので この様な教育が洛星に於て行 次

の道を選ぶ精神力と信念を養い、 とが大切ですが、本学園では自分 かできる基礎学力と体力を養うと 選び、その道をまっとうすること|あると考える現代人もいます。 は、将来諸君が自分の道を自由に一兄弟愛があれば人間生活は充分で でした。中学・高校教育に於て られた事は人生観と価値観の確立一ちながら、それでも神の存在を疑 の中で諸君に教えられ、考えさせ一の残虐的行為、この様な不安を持 ついて話し合って来ましたが、そ一て、青少年の自殺、殺人、その他 代の青少年の諸問題、 わり、またお茶を飲みながら、現一います。他方、理性の不確実性も 私は此の一年、諸君と教室で交一な人間であることに誇りを持って 社会問題に知っています。具体的不安とし の存在の意義を確立できるでしょ うか、考えて見て下さい、信仰生 い、宗教の必要性を疑い、自由と を中心として物事を考え、合理的 われるのです。 果して、この様な考えで、自分 しかし、一方では現代人は理性 二十三期の諸君

す。それは作文や物事に取りくむ。実の問題を乗り越えさせるもので 行もこの流の努力でした。また洛 ります。 この精神を忘れないで下 ヴィアトール」と 歌ってきまし 真剣な態度、忍耐力によってわか一す。諸岩は「我等のあこがれ、聖 分の人生観・価値観を持っていま|する信頼という姿勢によって、現 **松行事や多くの文化鑑賞、研修旅**の勇気にあこがれたのではありま|じ位富ぴとして受け入れるに値す 人生観・価値観を養うことです。 己い。

洛星の教育目標は、

ただ専った。

ヴィアトールが当時の

社会の 人化祭、体育祭、宗教行事等の学 │為に自分の生命を賭け、諸岩はそ 口知識を与えるだけでなく独自の 幸い、多くの諸君は、すでに自 不正に対して毅然たる態度でもっ せんか 神に対する信仰生枯は、神に対 人権擁護を訴え、正義と愛の

星では人権教育、平和教育が自然 に行われていることを感じてとら|観が真の勇気と根性を与えるもの れたと思います。即ち、 人種の違と私は信じています。 神に基いた人生観、生命の価値 とも出来ない、又、

出会ったとしり、そういう自分を客観的に眺め

間の最も美しい姿であると思う

たい。その燃えている姿とそ、人

あれ。祈る。

行け!

若人よ。

た一文である。

目標に向かって最後まで努力し

(1)

何の為に」と常に問いかけ、次の 聖書の言葉を思い出して下さい。

担

任 נת 6

高3A担任 藤 田 行

社会に対する認識を育てる為に努一活が人間性を否定するでしょう 持てる人格者となることを期待しを見い出すのではないでしょう 刀は「私とは何者か。」また「私|力を認める謙虚な態度とそ、新し 刀がなされています。この様な努力。理性は、理性を越える無限の いに対して、独自の判断と責任を「諸岡堰に対して、冷静に対処の道 い宇宙を発見し、自分を取りまく 十年位の間隔で訪れるように思わ。痛みのように感じてしまうところ づく思い知らされた。竹の一節はうところは、他人の痛みを自分の 作らされるということがあるもの一程勝手な人間になれないからつら を君達と共に過ごしてきた。自身に、この出来事が会わせてくれる だしい毎日の中では到底出会うとを奪われてあわただしい毎日を送 ることが出来た。入院中はあわたいては、目前の生活に一切の注意 のであったが、これも君達のと同一てこの言葉を卒業に際して君達と くたくましい一節の完成に心からということで決まるのやないやろ を作ったのである。その大きな強一け自分以外の人間が住んでいるか 君達は今日の卒業式で喜びの一節 れる。小学校の入学式に次いで、 もない力によって「竹の一節」を が、人生には自分ではどうしよう|腸の子』の中で、主人公である小 まざに大過なく送ってきたのだ。ととになった。灰谷庭次郎の"太 生の洛星での十年余りのほば半分 日々が積もり積もって六年間、小 だと、暮の人院騒ぎによってつく る程多くの有難い 勉強、 経験をす "おめでとう"と言いたい。 日々何事もなく過ご、そうした一てもそれ故に気づくこともなく、 小生に与えられた一節は辛いも一当に皆この様な人達だった。そし なんや。ひょっとすれば、いい人 共に持つことが出来ればうれしい というのは自分のほかに、どれだ くて苦しいのや。人間が動物と違 学生の "ふっちゃん"の "いい人 目の別を通りすぎてしまっていた。だ一つ日本の社会だけであるよう と思う。又、今後の社会生活にお かもしれない多くのすばらしい人 』という言葉があるが、本 してそとに君達と共有する部分を 的。を探究していってはしい。そ として、この「人生という旅の目 の旅の目的について思いをいたす る人生の音には太い竹となって大一すだけのことだから。あの燃えつ をかため、やがて君達の前に訪れ のひと雨ごとに一歩一歩着実に地 ことは、なかなかないかもしれな たり、どこからどこへという人生 いなる飛躍をされんことを期待し 求めたいと思う。 梅一輪ひと雨ごとの暖かさ

洛星で六年間過じした証し

行け

高3C担任

加

地

安

でおられたら、それは造られなかでも、生きる意味、励い意味を数 お創りになったひものをとつと して嫌わない。あなたが何か憎ん っただろう。あなたがお望みになって下さっているのです。 べて愛してくださる。あなたは、一らお造りにならなかったから。自一 「あなたは存在するものを、すら、神はつまらないものを初めか 分の存在に誇りをもって下さい。 いものではありません。何故な一この字校でしか得られないことを この様に、神はいつでも、どと | こと。 この二つが非常な重荷であ | これからも享受した自由が侵害さ

る大学人試合格を実現してもらう

こんな目田が真なものならば、

とと、もう一つは生徒の願いであずれば何と目田な社会であろう。

得たかどうか、確認してもらうと|日本の社会は、逆説的な言い方を

ルギーを費すことが許されるこの 世代の人が集中して、相当なエネ

るゆえに長い月日である。

れることがないように守り育てて

らなかったものが存在するはずが だろうか。」(知恵の書第十一章」す。 なかったものがどうして存在したれていることを私は確信していま ない。あなたがお呼び出しになら、値観を持つ人こそ、現代に要求さ 神を基にした独自の人生観・価 いま言った二つのことは並列に一欲しい。

大年間の生活を思い出して、考えりつくゴールラインの時ではなって欲しい。 大年間の生活を思い出して、考えりつくゴールラインの時ではない。 後のことについての権当。 言いたくはない。むしろ順列で言 いたいくらいである。 前のことは、この卒菜の時点で

真の自由をさがし求めて欲しい。

いずれにしても合格や不合格の

こんな自由が偽なものならば、

されるのは世界を見渡しても、た 奔するこの規範、こんな規範が許 てこの周辺の者が、この時節に狂 年間三十五万人以上の特定の世一安や人を表む荷物をもって帰りつ

されると腹が立つ。 っていると思って欲しい。

だ。しかもこの規案は、成員個人一てもプロレスやって人に迷惑かけ の自田意志の決定によって成立したらあかんぞ! 代の人と、私達数節をはじめとし、くゴールラインでもない。どのよ。はない。だが、そのでき上がった 者にすべてを心得えたような顔を うになってもスタートラインに立 大学に入っても、〇〇校に入っ いい若

B組担任 藤田

則武





D組担任

C組担任 加地 安寬

を、卒業する諸君にはなむけとし 日々その実践を心掛けている「メー ンタル・ハーモニー」という言葉 はりますが、私が坐右の路にして 贈りたいと思います **入学を出てこの方二十数年にも|君達を泣かせ**

プロレスやって迷惑かけるな

高3B担任

田

征

宏

輩のこういう話があったのです。 モニーは、おそらく感動をもって 君達自身の声で造り出されたハー ハーモニーを岩鑑一人一人が勝手 「合唱することは独唱することで なりませんでした。そんな時、先に、感動を覚えたのでした。精神 ず大学のクラブの厳しさを教えら ティングが重視されて、そこでま かされるかもしれない。けれども 囲気が生み出されるのか不思議で 厳しざの中で、なぜなごやかな雰 れましたが、その時は実際こんな から、練習の厳しさにしばしば泣 に楽しむ権利はある。君達はこれ 心地のよい場所でした。 合宿では先輩と新入部員のミー 適当かもしれる 会で初めて合唱の持つ不思議な力 らないような気がするのです。 動かせるのは、 感動させ、同時に人の心をも揺り 造る難かしさを克服して、自分を 性的な一人一人が一個の芸術品を 表現するのに、 的なつながりを一個のものとして た私は、一回生の終りの定期演奏 擦など人間関係 や伴奏者への不 以上、新 きん。しかし、個 合唱を選ぶのは不 合唱以外には見当

もし誰かが水をかけて火を消して一わない。僕の人生はこれからなん。としての役割 や満足感が感じられるような気が。る時、「炎」と題して書いてくれ と燃えてみたい。失敗してもかま い。祈る。
い。
い
の
言
葉を思い、出して下さ これは、二十三期生の一人があ ところでメンタルなハーモニーを 創る場面の方: はないでしょうか。何かの時に、 要もあるでし、 で声を張り上げる必 か、ずっと多いので

もかまわない。又、一から燃えだだから。

きてしまった吹から、何か落着き

出さずに最後までもえつきたい。

分で努力してみたい。途中でなげ

さあ、僕もこれからもっともっ

何に対してでも、できるだけ自思う。

た男にはなりたくない。

メンタル 11 1 モ

▽最近本を読んで、面

則 武

隆

た小台唱団でしたが、雰囲気は実一であることを強く教えられたのでき、その後11時まで役所づとめを クラブの一員として合宿に参加し の言葉を私が初めて耳にしたのは「精神的につながっているのだとい」プリーニゥスの一日である。彼は か十数名で、何とも小ぢんまりし た時でした。その時の部員はわず ある。」 ここで、私は「メンタ 大学に入って間もない頃、グリー 精神的調和と直訳で含ますが、こ になごやかな家庭的なもので、居 メンタル・ハーモニー」とは ル・ハーモニー」が合唱に不可欠を明け前、皇帝の所へ挨拶に行 う、積極的な自覚をもってこそ、一元老院議員で、ミーセーヌム鑑隊 るいは指揮者にただ従うことだけ、らったほどなのである。こんなこ した。 という一個の自 達一人一人が、 で喚び起こされるものでなく、君とから、筆者は諷刺詩を信じざる 初めて生み出ざ ートを暗譜し、 ことは、その思 つだけ君達の 心に明記してほしい くれるだろう。一

僕はいつも燃えていたい。さめし、目標に向かって努力すること一方向を決定してくれたのは確かな は人間に与えられた義務であるととです。私達は日常、心と心の す。これから未来へ歩を進めて行 しばられました。その間、指揮者。る時でさえ、奴隷に本を読ませて ために猛糾当が行われ、徹底的にしらは、大がかりな晩餐。食事をと く諸君にとって、ある時は独唱者 ろ合唱団の一員として、見えざる。ども考え、将来へ旅立ってほし にとってこの合唱を通して得られ 触れ合いの大切さをよく口にしま 味のない人には大変退屈だったか た経験が、いつのまにか私自身の もしれません。 という勝手な例を持ち出して、興 やがて一年に数回のステージの|冷水浴。昼食、昼寝。4時でろか ょう。しかし、むし家医」もよいが、こんな昔の話な ばの難しさを経験してやっと床に着く。▽現在と生活 経験から合唱など 不満、部員同志の摩伽強するのである。これが終わっ しかしながら、私 Vo 本はおしまいである。「仕事より のである。これがなくなれば、日 より、現在の地位を維持している が、実際、日本は国民の動勉さに



uれるというととで 司令長官であった。彼は毎朝午前 気体の一部分としてかった例は、「博物誌」をかりた 感動は単に自分のパーの一人娘ユリアにいたっては、こ あくまでも合唱団を得なかった。▽そこで、近頃わ 楽譜に忠実に、あの法のため父の手により追放を食 一なぜなら、姦道禁止法を出したア ゥグストゥスでさえ浮気をし、そ は早く引退し、田舎にでもひっと え、仕事よりも家庭という考えが 在、日本人には中流意識が芽は そ、ローマ繁栄の源泉だと言って 末期の歴史家は、この名誉欲と 努力をもいとわず、名誉を求め、 と考えた。そのために、いかなる し、自分の名を永久に残すことだ としないで、真の価値ある人生と とは限らないが、注目すべき事実 級の人は皆が皆これをやっていた 然なことかもしれないが、上流階 パターンこそ異なるが、ものすご 高まりつつある。これも一理ある んで勉強し、すぐれた作品を残 務等で多忙な生活を価値あるもの にはまちがいない。▽彼らは、政 く勉強している。支配者として当 一時に起き、灯火の下で勉強し、 ほとんどそのまま想像していた。 ゥエナーリスのかいた諷刺詩を、 いる。▽時間も場所も代わって現 称讀されることを欲した。共和制 する。帰宅して、朝食、日光浴、 流階級といえば、一~二世紀にユ 衣 る。筆者は、ローマ上 白いことがわかった。 の上流階級の生活であ それは、古代ローマ人

日頃、非常にうるさかった(活

卒業式はペネディクションに引体どうして乗り越えていったらよ

第二十三回卒業式

生

か

影

た。二、三度女とかいう名の芳し うな気がしたけれど、大きな流れ に押し流されて見失ってしまっ いったい何をしてきたのだろう。 て敬っていった六年の間に、僕は のお」と答えたるから。 たら顔をしばいてくれ。 感謝の言葉

植田

良樹

身をゆだねる僕は、それをこの手一の暖い目に見守られて、桜の花の いものだと。今は誰も気づかない てに折った色無き花が教えてくれ い香が漂ってきたけれど、大河に 人生は長い長いと、世はつら しまった。

びした日々は、すべて忘れること 発だった)二十三期生も、さずが 冷たい風と戦うために。洛星で過 星という暖かい部屋を出て、外の に当日は管神妙な顔をしていた。 僕たちは行かねばならない。洛 卒業生の言葉

でした中学・高校時代の意味を、 のこれまでの人生の三分の一を過 えていて下さった方々。 本当に真剣に考え、主体的に行動 ち。洛星という一つの共同体を支 してきたであろうか。日常の生活 し分のない洛星の日々を、僕たち しかし今にして思えば、との申

桜の花が年ごとにその色を変え

うとしています。 そう、わたくし共は、みなさま とうとう卒業することになって

コートのキズも忘れたくない気持ることでしょう。細かい所まで見しな、換言すれば平凡な六年間だっ の中でも忘れられない部分をしめ 洛星で過ごした六年間は、人生 閲には乗せられないような事ばか

も無き合、何をか頼りに生きん。 心は悲し。大道路、有仁義。仁義 さて、みなさん! 道で見かけ でないととでしょう。 護者の方々も、喜びの余りに涙も で明るく素直な息子達を見て、保 会でのエリートとしての心構えを て下さった先生方。これからの社 しっかり身につけた学友達。元気

おかげです。 みんな、ありがとう。

厳しい

ち。巧言令色解仁矣。されどその一落さず一つ一つ丁寧に生活指導し一たという事になるのであろう。洛一えるだけである。との言葉しかな に握ることはできなかった。心あ一咲くころ、大きく社会へはばたと一类に際しての感想として特に書き一のが、正直なところである。この 気に染まる事は事実なのだが、卒うちに学年があがっていたという りである?)。それだけに、平和、陳腐でキザっぽいかもしれない い面でも悪い面でも洛星的な雰囲 たいような事はない(あっても新 六年間も同じ学校にいると、良星にいるという存在感があったの が、やはり人生は無常だなあとい 心境を一言で述べると、いかにも ように六年間を過ごして来た今の は初めのうちで、知らず知らずの

しかし、僕たちは今、旅立って一で来れる処にまた躍りゆくなり。 (旧約聖書「伝道の書」より) 〇登校 役皇における生活。 3 B

第二十三回卒業生 經 崑 雪 日間 り授業

海は織つることなし。河はその出 河はみな海に流れ入る。されど 風は南に吹きまた北に向ひ、

世は去り世は来る。地は永遠

処に躍り行くなり。 陽は昇り陽は沈み、またその出

六ヵ年皆勤は十九名

昭和五十五年二月七日

星

的な学校生活を送ったとして、上て。

|名それぞれ表彰された他、模範|を海凶として、またコンパスとし

ゆく。洛星で得た「不変の原理」

卒業証書が一人一人渡された。ま き続いて行われた。卒業生全員にいのか。

で高2の天津康君が送辞を述べた一保つなり。 西泰之君が表彰された。生徒代表

後卒業生を代表して吉見武司君が

ありがとう、ありがとう。 無常という事

〇卒業 〇赤点 の旅立ち。

森脇師に捧ぐ

一問一答式、理解しやすい私の 私へのアンケート 超A級巨綱。汗と温情の 6分間の大スペクタル 石田 良介

級タイトルマッチ四五分 突顔で残念でした。 NOWWA世界ヘビー 登校の副産物、笑顔と 卒業生の言葉

こうなったのも、みなさま方の「後悔ばかり。でも、何もしないで」て、こう自分に言い聞かせていま かりで、失敗だけが思いだされ って、何もできないでもじもじし る。何故あんな事したんだろうと 目は、とかく気になるものです。 こう思われはしないかと変に勘ぐ るという事を知っていれば、気が **| 仮催する方がもっと苦しい。人の | す。 最後に、 自分がテレビを見て** こいる。 そんな自分がいやにな」に乾杯。 昔を振り返れば、恥かしい事は

〇後輩の方々に一言 日課とする毎日。

お忘れなく。 冗談の通じない世界へ 北海道へは、空気枕を

大変温厚で、怒ってもこわさを感 談には気軽に応じる方で、また非 のだが)。得意技は「森脇パン も老けて見える方である。性格は じさせない(そこが欠点ではある 脇先生は白髪が目立ち、実際より

いる時は、相手もテレビを見てい 楽になるかもね。では、私の未来 時に考えればよい。昔を振り返っ 方ない時がやってくるから、その い。走れなくなって考えるしか仕

〇平均点はるか遠方に輝く星。 定期試験の副産物。

いて、少し書かせていただく。森 間もお世話になった森脇先生につ 中・高六年間のうち、僕が三年 広史

コピー屋さん通いを、 | 孁中で教壇に立たれていないが、 一たずねて、明快な答えが返ってく」そういう考えをもっている人は、 「だが。 いた。他の先生と同様、質問、相 度々思さをしてはこれをくらって チ」と言われるゲンコツで、僕は

えると人の目が気になって走れな。でざいます」と言っていただきた一わり』じゃ。」 だから、走った後で考える、考」君は僕らに代わって「おめでとう」「ワシはお前たちのいわは『親代 いつか復帰なされたら、在校生諸一言われたのを今でも覚えている。 いつだったか森脇先生がとう

高校生徒会崩

前代未聞の辞任劇

て、何々をしたと断言できるもの一まずかった。執行部が承認されな一た行事といえば、クリスマスだけ「乗り出る者はなかった。結局、残 ある。今、その活動(わずか二か 月ではあるが)をふり返ってみ|信任された。ところが、その後が| 塞で、やっとこさ成立したもので 組まないことを声明する。 それに 投票においても、かなり低い支持において、会長の福井君が予算を うか。後期の幹部は、一月の信任の事実である。まず、立会演説会 に辞任した。こんなことは、生徒 会史上初めてのことではないだろ」から、ぐらぐらしていたのは周知 後期高校生徒会幹部が一月半は一があるだろうか。何もない。 もかかわらず、役員はぎりぎりで この生徒会幹部が活動する以前 どでまかなっている状態である。 期にあったが、現在後期で目立っ クラブも多く、 い。二、三年前までは文化祭が後 前期のとちがって、行事が少なれらをも越えて もともと後期の生徒会活動は、

大半は、泣く泣く髪の毛を切ると人もいる。要するに各自が自分自 が、のはしたいと思っている人のい人でも決して清潔とはいえないは、毛をのばしている人もいるしいことであるし、また髪の毛の短 の毛をのはしたがるのか、と真正一人がたくさんいるが、長い髪でも いう状態である。 はいけないのか。高校生の中に一不潔にはなる。しかし、それは毎 りうるさい。なぜ髪の毛が長くて それでは、なぜそんなにまで變ば、女の人の中にはされいな髪のりですればいいのである。例え 洛星は頭髪問題について、かなるだろうか。 日、洗ったり、整えたりしたらい 髪の毛が長いと、たしかにやや 全く別の次元の話である。 ととと、不良になるということは いないのか。髪の毛が長いという な理屈の通らないことがあります ないか、ということがある。そん ていることに、不良になるのでは やや頭が古いと思うのだが。 最後に、親や教師が最も警戒し

と、明快な答え 面から問われる 髪の毛が長いのは悪いことなのだろうか? いというわけ

常に几帳面である。今は、「病気療」をのばしてはいけないんですかとのようになるのでもない。だから一識をもって対処すべきなのは当然 う。しかし、それならなぜ髪の毛し、髪の毛が長いからといって女々がそれをまかせられるに足る良 い。そんなあいまいな理由ではだいるかもしれない。しかし、何も めだと言われる先生もいるだろやたらめっぽうのばすのでもない こいいからとか、世の流行だから とか、そういう答えしかできな に美しくなるのである。 また、男のくせに、と言う人も

けれども、髪の毛が長いからい

はできない。何となくとか、かっ一手入れの仕方によっては、あんな一ろいろな人がいて、長い方がいいる。しかし、内部にいる人間にと、熊井啓監督)の団体映画観賞が行 という人もある。つまり、ここでないだろうと思われる事も多い。 らい、生徒の自主性にまかせてほ 言いたいことは、髪の毛の長さぐ という人もいれば、短い方がいいって、それは首をかしげざるをえわれた。中学はスカラ座、高校は しい、ということである。勿論我 い意味で)。 特に、通学の

(居川孝志) | 停留所にバスが着く。そして、

の行動力をもった生徒もなくな。んです。自分から逃げないで、女「雄々しい山々。何やら入生を感じ」られたものが少ない。それは多分一ためには日々を精一杯生きて欲したようだ。しかし、中にはまるま に精神的な拾得物が多いからそう

慈愛の護り合であり続けて欲しい では、健康に気をつけて、あま 様な感情を抱かないように、その

諸君は卒業に際して、私と同じ

ない。どうもありがとう。

では、さようならー。

六年間の意義 3B 北村 博史

日ではなく、悪天候の後にだけ姿 十分間だけ、笠置・生駒の間、吉 見える。一年の内、雨の後にさっ ら南を望むと、紀伊半島の山々が 野の奥に大台ケ原の山々が、くっ 意外なことだが、洛星の校舎か 卒業の季節を迎え、この学校とる。

果、今では敦節をおびやかすほど」す。世の中は男と女からできてる「を見せ、久しからずして消えゆく」かに短いものと化してしまう。得一 り、生徒は抵抗することもなく従一精神的に満ち足りていないのに、一きりと浮かび上がるのだ。快晴の一今一度との六年間の意義について一わからない。それが偽らざる心情一だと思っている。 と晴れ上がった日のほんの二、三一もお別れだと思うと、つまらなかる。が、とにかくことまでやって 考えれば、長いはずの年月ははるだ。 化したい心情の私である。しかし、たこの六年の重さは、今の僕には一れを探すのが僕のこれからの人生一へたは関係ありません。少しでも った出来争さえも思い出として美一きた。知らぬ間に過ぎ去っていっ まらぬ事に夢中になった事もあ ただ、いつの頃からか、耳の奥 やりたいようにやってきた。つ一めに?」今もこの声が響いてい 何もかも嫌になった事もあ一僕はこの声に答えねばならない。 D D 日か必ず答えを出せるだろう。そ る。もはや消すことはできない。 しようとしているのか?何のた

片手の鳴る音はいかに? 両手の鳴る音は知る。

|かったのである。 一度は決まった。 である。 そのクリスマスも、 今で、まっ先にドアに突進するのは、ほ 執行部が、ある委員のクレームに は高校生中心か まったのは年も明けた一月だっ より、ひっくり返され、正式に決しなっているようだ。

た。この時点で、すでに生徒会の一名のがよい、とは言わないが、今一たが、洛星の生徒のやかましては されないままに終わった。おそらしこれでは、あの連中は「ひやか」大衆の前で話してもいい内容と悪 運営は物理的に不可能となったの「年の場合、 予算もたてない、 行事「定評がある。 特に中学生のあのか 予算の問題であるが、結局分配一何のために生徒会を作ったのか。一のがいけないとまで言わないが、 何も、従来の行事をそのままやスず…」という歌が数年前にあっ 2行わないということでは、

一体

人高い声。

何も、

車内でしべゃる ら中学生中心の形とんどが洛星の生徒である。また 車内での談笑。「人の迷惑かえり

ととになろうが、財政的に苦しいがないだろう。 く来年度の前期にくり越しというし」で出たのだと思われても仕方い内容があるはずである。洛星は 一時のたてかえな 数年前から、 生徒会はマンネリーら、そんなことぐらいわかりそう との名門校に合格する人なのだか

・・・・・・・・・・・・・・・・。

り二カ月は生徒会なしということ

一っかりと聞くとか、

不正乗車をす 集されたことはされたが、誰も名一何か哀れな、悲壮な感じがする。 てきたが、ことにいたっては、そとれからもう一つ。洛星の生徒 化しているとか怠慢だとか言われなものだが……。 ではないだろう。 徒会史に残る汚点といっても過言をる行為が多い。 になった。とにかく、この事は生るとか、あまりにも常識がなざす 辞任人の後、 新生徒会幹部が募りかである。それを見ていると、 しまった。 は、皆、車中では、勉強かいわむ その他、大きなカパンを味にど

か。僕たちはそんなに信用されて「な事が一度とないよう、奮起して「反省して下さい。 四月からの新生徒会には、こんあることであろう。どうか皆さん 誰でも一つや二つは身に覚えの

もらいたいと思う。

通学の

途中で

「天平の甍」

団体映画観賞

ではない。いとなしく良い子だと思われていして、「天平の悪」(井上婿原作 を見ばるものがある(もちろん悪の苦労を描いたものである。 の中での洛星の生徒の態度は、目から高僧をつれてくる若い僧たち 世間では洛星の生徒は、一応お バスあるいは電車 京宝で、二つに分かれて観賞した 二月九日の土曜日、授業を中止 「天平の甍」は、奈良時代中国

中・高生だけの団体旅行へ参加し一の松しらべがゆかしくなくなる日一終った私にとって、一日は簡単に一たのは、君達がいたからかもしれ よ。未熟な人格がここまで成長し 一語らしきは友人達 る六百円をむだにして、いねむり を決めこむ人もかなりいた。 しての宣伝もいきとざいていたせ いで、皆かなり熱心に観賞してい つまらなかったという人は半々ぐ らいだったが、ほとんどの人が、 が、おもしろかったという人と、 しいと言っていた。 こういう企画をもっと増やしてほ 映画終了後、数人に聞いてみた 作品が有名であり、また映画と

局員大募集!

しかし、焦りはしまい。いつのいうととになる。 いくと、新聞局はあと一年の命と も高校生ばかりである。このまま 現在、新聞局員は約五人。しか

やってみようかな、と思う人は、 すぐに新聞局に入って下さい。 中学生の皆さん、文がうまい、

か。 これからの激動の時代を、一問題を見逃してきたのではない に流されるあまり、数々の大切な

ってきただけであった。その結

べて教師、特に生徒部の力であ

僕選には多いのです。仕方なく、 ょう。でも自分一人という場合が

ところが、このような状況はす

なことばかりである。

こうしてみると、表面上は結構しょう。そんなとき、やさしい女

の子が身近にいれば、と思うでし

第100号

る。共に喜び、共に悩んだ友人た のできない二十三期生の財産であ

特の合唱がなくなり、文化祭らし

くはなったが面白くなくなった。

このように全体の風紀が整って

さた結果、大学合格者数も年々増

復で単調に過ぎていく毎日を、や

はありませんか。家と学校との往

君は時々ふっと淋しくなること

りきれないと感ずる経験があるで

れなくなった。文化祭ではパンチ

長髪や食堂の割り込みは減った

的な人間が育つ環境からはやや雕

としては整っているが、真に社会

つまり、現在の洛星は一受験校

っと誰かが微笑んでくれます。

枯れが痛々しく散見される。衣笠もやりたかった事の多くが未完に

目を北に転じると、衣笠山に松一感じるのであろうが、それにして

そして.....

ってください。誠実な君なら、き 友達をつくってください。塾へ行

させる風景である。

れたものではないかと思われる。

の狭さに驚かされます。男として

てください。自分の生きてる世界

はそう遠くなさそうだが、洛星は一暮れ続けていった。

精神的にも成長しよう。充実した

ものだ。

贈る言葉

3C 畑谷

圭

学校生活を送ってください。

ちょっと窓から

り窓の外を見すざて先生に叱られ

オープン・エンド

で誰かの声がするようになった。

こにいる? 何を

ぬよう、くれぐれも。

この六年間に洛星もずいぶん変

弘明

り、また生徒の精神的な退行も顕一

洛星雑感